

予算質疑 あれこれ

～ 新年度の予算はどうなってる？ ～

新年度の予算案を審査する「予算審査特別委員会」での質疑内容から一部を抜粋してご紹介します。



小中学校給食費無償化事業

問 給食費無償化の請願は否決されたが、請願者の3,000筆の署名が実を結んだと思われる。無償化は1年間のみか。また、他市から市内の学校へ通っている場合は無償となるのか。

答 令和7年度は無償化を行います。淡路市の小中学校へ通っている場合は、他市の市民も含め無償化となります。

問 小中学校給食費無償化事業を予定しているが、3月に入って保護者に、給食費が月額調定から実費徴収へ変更する案内文書が配られている。無償化するのにこの変更というのは、8年度はまた徴収することからなのか。

答 この度の無償化は物価高騰対策の交付金を活用してのもので、8年度以降は、国の動向をみながら、次年度の予算編成時に無償化を継続するか検討することになります。無償化となっても実際の費用計算などの内部事務は発生するので、この度、徴収方法を保護者にわかりやすい実費徴収とし対応することとしたため、お知らせしています。

こども誰でも通園制度

問 こども誰でも通園制度が先行して行われるが、実施場所、料金、利用者見込みは。

答 津名の子育て学習センターと聖隷こども園の2か所で実施を予定しています。月10時間の上限で1日最大3時間まで、1時間300円で利用ができ、39名程度の利用を見込んでいます。

夏の全島一斉清掃日の見直し

問 熱中症の危惧もあり、実施日の見直しについては。

答 連合町内会長会等での協議事項でもあり、7年度より、従来の7月第一日曜日から、6月第一日曜日に変更し、実施予定です。

「AWA CLUB」事業

問 部活動地域展開において、現時点での競技数と指導者登録は、どの程度確保されているのか。また、具体的な方向性は。

答 運動部はスポーツ13競技、52名の登録があり、文化部は5分野、9名の登録がありました。小学校の社会体育の形態なのか、地域のスポーツクラブに中学生が入ることになるかは、現段階では協議を重ねている状況です。

大阪・関西万博見学支援事業

問 大阪・関西万博に行く日程や手段など検討している内容は。

答 中学校5校から9月に希望が出されています。バスでの移動を計画しています。

問 安全面はどのような対策をとるのか。

答 教職員が下見を行い、トイレの位置や救護所などの情報収集をして、計画立案して、緊急時の対応や行動についてしっかり伝えていきます。

問 参加は拒否できるのか。

答 出欠扱いは校長判断になるが、個々事情を聞いて対応していきます。



大阪・関西万博HPより

自動録音機能付電話機等普及促進事業

問 予算が増額されているのは、希望者が多いからか。

答 令和6年度の実績が186件となりました。ひと月換算で20件を見込み、詐欺被害を少しでも抑えるために予算計上しました。

問 対象は高齢者のみの世帯か。

答 高齢者が同居している世帯も対象となります。

当初予算総額 560億2,570万円

- 一般会計 390億2,800万円
(合併初年度を除き、過去最高の予算額)
- 特別会計 120億8,770万円
(津名港ターミナル事業及び住宅用地造成事業等は廃止)
- 企業会計(下水道事業) 49億1,000万円
(施設の耐震化を図るとともに老朽化施設を更新する)

防犯灯整備事業

問 防犯活動や地域の安心安全を守る防犯灯の設置は進んでいるのか。また、電気代の負担はどのようになっているのか。

答 防犯灯の整備は町内会からの要望に対して、優先度を見ながら予算の範囲内で順次設置しています。また町内会の加入率が下がってきている中、防犯灯は町内会加入者だけのものではないため、町内会で負担している電気代を令和7年度から市で負担します。

問 町内会としてどれぐらい負担が軽減されるのか。

答 1基あたり月200円程度で、年間2,400円程度となり、各町内会設置基数分の軽減となります。

問 手続きや無料になる時期についてはどうか。

答 市が変更手続きを行います。市で登録番号が把握できていない防犯灯は、町内会に照会して手続きします。市で確認している防犯灯については、4月1日からの電気代が市へ請求が来ると考えています。

問 防犯灯の電気代を無償化するとすれば、新規要望が増えると思うが、全て対応できるのか。

答 町内会からの要望をまとめ、優先度の高い場所から設置していきます。予算を超える場合は、翌年度以降に順次対応していきます。

問 令和8年度以降も継続していくのか。

答 事業としては継続していく方針で、財源は検討していきたいと考えています。



空き家確保支援事業

問 空き家バンクへの登記費用補助と、清掃や家財整理等をした費用の補助はどうか。

答 登記費用は概ね3万円と考えているので3万円の補助にしています。適正管理費用は、実費を補助することとし、上限は7万円になります。

問 30件という根拠は。

答 実績として令和5年度7件と6年度15件でした。30件はあくまで目標で、必要に応じて検討したいと考えています。

救急安心センター事業(＃7119)

問 急な病気やけがをした時、救急車を呼ぶかどうか判断するのは難しい。そんな時に相談できる窓口を設ける事業である。現在、県下では3市のみの実施だが、いつから事業を開始するのか。

答 高齢化の進展等により救急需要が増加しています。限られた医療資源で市民の命を救うことを目的に、県と市町が連携し実施します。相談料は無料、電話料金は利用者負担ですが、電話で相談できます。令和7年度中の事業実施を考えています。

問 どのような体制で相談対応してもらえるのか。

答 365日24時間体制で、看護師が当番制で相談に乗っていただけます。

多自然居住体験施設整備事業

問 市民農園、キャンプ場、農家レストランの利用実績は、また、今回の予算は何に充てられるのか。

答 野田尾西の谷の市民農園は5施設に5利用者、興隆寺市民農園は5施設に4利用者、キャンプ場は362サイト1,155人、農家レストランは545人の方々が利用されています。今回の予算は、野田尾本村の市民農園6施設の建設に充てられます。